



2015~2016

沼田ロータリークラブ会報

世界へのプレゼントになろう
Be a gift to the world

2015~2016年度 国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラ

例会日…毎週火曜日 12:30 会長 春日政志 幹事 今井幸吉 会報編集 小暮正人
例会場 ディラン 事務所 沼田市西倉内町669-1 沼田商工会議所3階 TEL 0278-24-1177

第2890回 例会報告
2016年6月21日

記録 小暮正人

例会予告

6/28	一年を振り返り 会長 幹事
7/5	初例会 午後6時30分 於 姫本

<http://www.rid2840.jp/numata/>

2016年6月28日発行 No.47

地方創生で 地域活性化

中央大学総合政策学部教授

細野助博先生

■卓話者紹介 金井正樹君

大学生の時からゼミでお世話になり、その後も研究員として育てていただいた恩師です。学部教授の他にも同大学院公共政策研究科委員長も勤められ、まちづくりのスペシャリストであります。

■卓話

8月下旬に学生120人位で調査研究に伺う予定です。沼田市の行政状況を7・8チームで調査しますが、その中から将来沼田に住んでみたいと思える学生が出たらと思います。

地方創生で地域活性化をしていくには、結論から言うと、利根沼田の核として連携して生き残っていくことです。

アベノミクスの一つ目の矢として、政府は国債の大量発行を行い、日銀はお札を大量に市場に出して円安にする。そうすると輸出増加、株高、消費増加、雇用増加というプラスの循環になります。金融政策では良い方向となりましたが、構造改革は進みませんでした。円安と円高は産業によって良悪がありますが、どちらかという円安にして製造業が輸出して競争力を高めたほうが景気に良い影響があります。今また円高になってきていますが、政治不安があり、ヨーロッパでの移民問題とイギリス、米国では大統領選挙ですので、安定している円が買われます。

高度成長期55~60年はどの産業も大幅に伸び、7%の伸びを10年すると2倍になると言われているのに製造業27%でした。そ



れと比べて失われた20年間の中間00~05年は、農林水産・製造・建設・電気ガス・卸小売はマイナス。プラスは金融・保険・不動産・サービスという都市的サービス産業で、人口の都市への集中化を示しています。

このマイナスをどうしたらプラスになるかという、構造が大きく変わる中で単体で考えるのではなく、各分野の連携という6次産業化が必要となっています。1次産業から2次産業、そして3次産業と変化してきましたが、これからは、素材があつて製造、流通が輪となり付加価値を高めていくことです。利根沼田の農産物が加工され流通に乗り日本だけでなく世界への可能性も考えられます。

人口の一極集中化は、都市サービスだけがプラスになっていて、そこに労働人口が流れていく。その中で女性の合理性により加速されてしまうようになります。政府は地方創生で、地方で人口が増えるように情報・財政・人的支援を行うとしているが、霞ヶ関では地方の状況がわからず、大都市圏に若い女性が多くて安心して子育てできる環境を望み必要としているのに、地方で出生率2を超えるより、東京で1.2を上げるよう足元から考えた

方が良いと思います。生まれる割合はで女性の方が4ポイント低く男性の方が多いのですから。

沼田市の人口推計と目標水準が計画で出ていますが、出生率を2030年に1.8、2040年には2.07を維持するとなっていますが夢の数字です。2030年には32,000人を4万人代にしたいとなっていますが、難しい話です。人口には、住んでいる人口、働いている人口、外来してくる人口があります。住んでいる人口が地域を支えるのですが、働く人、来る人が増えるようにすることが重要です。

地域活性化の環境プロセスとして、事務所を増すと従業員数増加、労働生産性向上、付加価値額増加とプラスの循環になるわけです。

全国的に全産業がマイナスで、医療福祉が少しだけ伸びています。地域的には、東京圏の南関東は別格ですが、九州沖縄が健闘してマイナス産業が少ないのですが、熊本地震災害の影響が心配で、東北は全域で人口減少が激しくなっています。

群馬県では、雇用力のある産業はというと、複合サービス事業が1番で、採石業、金融保険、通信、農林、医療福祉、製造と続きます。

政府はこのように人口減少と地域経済縮小の克服のため、まち・ひと・しごと創生により好循環を確立するとともにこれを支えるまちに活力を取り戻すよう施策を立て、政策5原則、自立性・将来性・地域性・直接性・結果重視を挙げて、5カ年の戦略で支援をします。4つの基本目標がありますが、一番重要なのは、時代にあった地域づくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携させることで、互いを高め合うことです。地域間の信頼を積み上げて、地域の強みを出していくべきです。

良い素材を持っている利根沼田が連携を密にすることで、この地域がよりすばらしくなり生き残れるよう望みます。

例 会 報 告

- 司 会 須田羊子SAA出席委員
- ソング 我等の生業 小菅茂雄君
- 来賓及び来訪ロータリアン
中央大学総合政策学部教授 細野助博様

会長の時間

春日政志会長

私の趣味である焼き物について話します。日本古来の陶磁器窯のうち中世より頭代まで続くのが、瀬戸焼・常滑焼・越前焼・信楽焼・丹波立杭焼・備前焼で、日本六古窯と呼ばれています。これらは主に生活に必要なものを焼いていました。

大きな変わり目は、秀吉の朝鮮出兵と千利休のお茶により、朝鮮から陶工を呼び寄せて茶陶を中心に中国・九州に窯ができました。有田焼、唐津焼、薩摩焼などがそうです。

江戸時代になり陶工達が全国に招かれ更に多くの産地が生まれ、関東では笠間・益子などです。茶陶だけではなく生活雑器にも現代では芸術性が見いだされ、個性豊かなものが、有名産地だけでなく全国から若い作家が制作に励んでいます。作家の作品は同じものは一つもなく、窯の状態、火の力により全て違ってきます。皆さんも気に入ったもの、どんなものでもよいと思います。気に入ったもので食事を楽しまれたらいかがでしょうか。

幹事報告

今井幸吉幹事

◎新入会員の件

4名異議無しで入会手続に入ります。

委員会報告

◎SAA出席委員会

関 真一副委員長

会 員 数	会場出席	メ ー ク	出 席 率
68名	38名	7名	71.43 %

◎ニコニコ委員会

林武一郎委員

・春日政志君 中央大学細野教授を迎えでき貴重なお話を楽しみに。社会奉仕の報告書ができ、松野ガバナー補佐宜しくお願ひします。

・ニコニコ一週間 細野教授をお迎えして。

斎藤正典君 小菅茂雄君 山田龍之介君
金子秀行君 松野正一君 今井幸吉君
荒井静雄君 阿形登氏君 宮澤孝幸君
桑原 裕君 天野純一君 西田俊太郎君
宮内明彦君 塩浦敬之君 南雲達也君
小暮正人君 吉野 登君 桑原伸一郎君
井熊開三君 前田善成君 小野里雅広君
持谷明宏君 関 真一君 保坂充勇君

◎財団委員会

桑原 裕委員長

・個人目標達成者 金井俊介君

最終例会で表彰を行いますので多くのご出席をお願いいたします。